



●議員は原則2期・最長3期で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

# つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク  
Tel&Fax:029-859-0264  
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F  
tsukubahotnet@ybb.ne.jp  
https://tsukuba-net.jp



2023年7月19日 vol.76

つくば・市民ネットワークでは、市民活動の一環として様々な取り組みをしています。その一つに「自主上映会」があります。自分たちが主催者になり、観たい映画や場所を借り、映画を観る会です。上映料を支払えば、多くの人と一緒に映画が観られます。

市民ネットでは、映画を通して様々な社会課題を知ってもらおうと自主上映会を開催してきました。

今年前半は4つのドキュメンタリー作品を上映したところ、全て満員御礼。「日本が今直面しているとても大事な問題ばかり」という声も届きました。

いずれも、一朝一夕には解決しない深刻な問題ですが、沈黙は容認と同じ。観て、知って、一緒に声をあげていきましょう!



自主上映会

来て、観て、知って!!

次は!



「教育と愛国」の再上映と  
齊加尚代監督をお招きし、作品に  
込められた思いを聴き、話しあう会を準備中です。  
2023年11月頃予定。決定次第、市民ネットHPへ掲載します。  
自主上映作品のリクエストがあれば市民ネットへお知らせください!

1月



## 『夢みる小学校』 市民ネット主催

不登校の子どもたちが増えているのって、子どもたちに問題があるわけではなくて、学校に原因があるんじゃない? 先生たちもすごく忙しそうで、大丈夫なの? そんな疑問を持つ親たちで企画しました。

上映会で興味のある人たちとつながることができ、その後のおしゃべり会でも学校関係者や先生を目指している学生、フリースクールや居場所づくりをしている方、自身の子の不登校で悩んでいる方などの参加があり、ざっくばらんで中身の濃い話し合いになりました。

学校にクレームを言うのではなくて、学校と家庭、地域とが手を取り合って、一緒に学校をよくしていきたい! (スタッフ N.A)

6月



## 『教育と愛国』 市民ネット主催

6月2・3日、上映会を開催しました。両日、たくさんの方々に観に来て頂き、この映画に対する関心の高さに驚きました。

私がこの映画を見て思う事は、子ども達が実際に日本で起きた歴史の出来事を学ぶ機会を奪わないで欲しいという事です。過去にあった歴史は無かった事には出来ません。正しい歴史を知り考えること無しに本当に自分の国を愛することが出来るでしょうか? 政治が直接子ども達の教育に口出し、教育現場や学問が歪められている現実を多くの人に知ってほしいです。

今回の上映会を通じて色々な方とお話が出来て、自分としても有意義な経験となり、自分の足元から出来る活動を考えるきっかけになりました。

(スタッフ A.F)

4月



## 『牛久』 市民ネット共催

舞台は牛久市にある入国者収容施設(在留資格のない人、国外退去を命じられた外国人を“不法滞在者”として強制的に収容している施設)の一つ。施設内の非人道的対応を当事者達の了解を得て‘隠し撮り’という手法で撮影された作品です。

上映後の感想には「まさかこんな暴挙が身近で起きていたなんて!」「共生といいながらこんな強制は許されない」など日本の難民政策への疑問・批判が続出しました。

残念なことに、上映後に入管法の改正が行われ、ますます難民の方々には厳しい規制が引かれてしまいました。でも、現実を知ってしまったからには、看過できません。より多くの人に知らせ、入管法の改善を求めていきましょう! (スタッフ H.K)

5月



## 『私たちの声を聞いてください!』 市民ネット共催

HPVV(子宮頸がんワクチン)問題のDVD上映・学習会&ポスター展をセンタービルco-enで開催しました。通りがかりにポスターを見てくれたり、話かけてくださった方もありました。駅前ではシールアンケートも行い、多くの方に回答していただきました。

学習会はハイブリッドで合計70人近くの参加。被害を訴えている方に体験談を語っていただきましたが、彼女の話に参加者の皆さんが惹きこまれていく様子がわかりました。

「癌になって辛い思いをしている人」「ワクチン接種後の種々の症状で辛い思いをしている人」、どちらも救済すべきですが、ワクチン接種は個々の判断で選べます。今後も国や医療業界が伝えようとしらない情報を粘り強く発信していきます。(スタッフ S.K)

# スーパーシティ問題について ～インターネット投票より移動投票所を!～

「スーパーシティ」事業とは、内閣府の定義によれば「大胆な規制改革とデータ連携基盤の活用」を伴う事業のことです。かねてより市民ネットはスーパーシティ事業に疑問を投げかけてきました。例えば「インターネット投票」。

この事業には公職選挙法の規制緩和が必要ですが、管轄である総務省との調整が難航しているようです。理由は様々ですが、とくに私たちが問題視しているのが「なりすまし」と「強要」「個人情報漏洩」です。インターネット投票になると立会人がいないので、どこまで公平公正が保たれるのか疑問です。しかも先進国ではインターネット投票による投票率は向上しなかったという結果が出ています。

そんな中、インターネット投票の前段階の事業として出てきたのが『オンデマンド型移動期日前投票所』という案。これについて質問しました。

『オンデマンド型～』は、申し込みのあった市民の個人宅を、AIが考えた最適ルートで移動投票所がまわる、というものです。

しかし、対象者は要介護5とか重度障害者に絞られ、家族でも投票できないということでした。さらに、投票は移動投票所の車の中でしか行えないため、ベッドサイドでは投票できないということも確認しました。要介護5と言えば寝たきりの方がほとんどなのに。このような事業に多大な労力と税金を投入する必要があるのでしょうか。

一般的に「移動投票所」とは、バスやワゴン車を投票所として活用し、交通の便が良くない高齢者の多い地域をまわるなど、投票に行きたいけど行けない市民ニーズに応えるものです。市民ネットはこれまで何度も取り上げ、「移動投票所」の導入を求めてきました。市民の利便性を上げたり、職員の業務軽減が図られるようなデジタル化なら賛成ですが、つくば市のスーパーシティ事業というのは市民ニーズよりも技術ありきの感が拭えません。

そこへ行けば誰でも投票できる、普通の移動投票所を実施して欲しいと要望しましたが、如何に。



つくば市議会副議長  
総務文教委員会委員  
**小森谷さやか**

- 一般質問項目
- ・つくばスーパーサイエンスシティ構想におけるスーパーシティ事業
  - ・水道事業について



つくば市議会議員  
都市建設委員会委員長  
**皆川ゆきえ**

一般質問項目

- ・精神疾患を有する方々の支援
- ・学校給食について
- ・学校における感染対策が子どもに与えた影響

## 自校式導入で、ゆたかな地域の給食へ

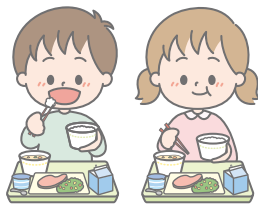
地産地消・オーガニック推進だけでなく、食育などで多くのメリットがある自校式給食を、市民ネットはこれまで、市民要望（約10,000筆の署名を2回）を含め何度も市に提案してきましたが、未だ自校式給食は実現しておらず、現在、4つの給食センターで給食が提供されています。

- ◆1980年開設 茎崎給食センター（最大3500食）
- ◆2003年開設 筑波給食センター（最大2500食）
- ◆2014年開設 豊里すこやか給食センター（最大8500食）
- ◆2020年開設 谷田部ほがらか給食センター（最大12000食）

そして、2020年に児童生徒急増への対応のため、新桜給食センター（最大7000食）建設に伴う予算が議会に示され、様々な議論がありました。

これを受け、2021～22年度に「学校給食の在り方懇談会」が市に設置され、教員や栄養士、JA、公募市民等が、センター方式と自校方式それぞれの施設見学と比較検討を行い、2023年に報告書が出されました。その報告書によると

- センター方式はコスト（施設費や人件費、食材購入費）削減が大きなメリット
- 自校式給食は地産地消や食育の推進という点で多くのメリットがあるということです。そして、報告書の“おわりに”では、「市は今後の給食施設整備にあたっては、当懇談会委員から導入を望む声が多かった自校方式について検討されたい」との意見が出されました。



6月議会で、老朽化が著しい茎崎給食センターは、新桜給食センター開所後に閉所する方針を確認しました。また、市長からは「在り方懇談会で非常に多くの自校式を望む声があり、自校式給食をまずどこか1校で設置をするための要件を精査したい」という答弁がありました。そこで、茎崎給食センターを廃止するのであれば、該当する配送エリアの全ての学校で自校式給食の導入を要望しました。

在り方懇談会では、つくば市には少量多品目生産の農家が多く、大規模化するセンターになかなか対応が難しいとの指摘があり、地産地消が進めにくいと考えられます。他にも「配送時間確保と大量調理のため、加工品を使わざるを得ない」という問題もあります。

一方、自校式給食を実施している牛久市などの自治体では、食べ残しが非常に少ないという効果が出ています。また、自校方式は、子ども達が栽培した農産物を給食に取り入れたり、調理員や農家を身近に感じられるなど、より豊かな食育を進めることができます。地産地消推進により地域の農業発展への寄与も期待されます。ひいては、自校式にかかるコストは地域経済への投資になり得ます。

今後も、多くのメリットや効果がある自校式給食の導入と共に、大量調理に伴う課題の改善を求めていきます。みなさまのご意見お待ちしております。

### 2023年6月議会議決結果

●「介護保険制度の改善を求める請願書」は不採択、「健康保険証を廃止しないことを求める意見書を国に提出することを求める請願書」は趣旨採択になりました。

| 議決の結果<br>(○：賛成、×：反対)                      |  | 会 派 名 |  | つくば・市民ネットワーク  | つくば自民党               | 自民党政清クラブ       | 創生クラブ   | 公明党つくば | 日本共産党つくば市議団 | つくばチェンジチャレンジ | 清郷会  | 山中八策の会 | 新社会党つくば |
|-------------------------------------------|--|-------|--|---------------|----------------------|----------------|---------|--------|-------------|--------------|------|--------|---------|
| マイナンバーカードの運用を一旦停止し、早急に全面的な総点検を行うことを求める意見書 |  | 否決    |  | ○             | ×                    | ○              | ×       | ×      | ○           | ×            | ×    | ×      | ○       |
| 各会派の所属議員(敬称略)<br>*は会派代表(議員数 26 議長：五頭)     |  |       |  | *皆川、あさの川村、小森谷 | *黒田、長塚、神谷小久保、(五頭)久保谷 | *飯岡、宮本木村修、塚本鈴木 | *高野小村中村 | *小野浜中  | *橋本山中       | *川久保         | *木村清 | *塩田    | *金子     |

マイナンバーカードのトラブルが続出しています。病院受付で本人認証が出来ない、保険資格情報が正しく表示されないなど、医療現場は混乱しています。また、コンビニ交付で、他人の住民票が印刷されるなど、個人情報が見られてしまう状況になっています。6月議会で、「マイナンバーカードの運用を一旦停止し、早急に全面的な総点検を行うことを求める」意見書案を提出しましたが、1票差で否決となり、国への意見書提出はかないませんでした。



# 公立幼稚園での3歳&延長保育を！

つくば市には公立幼稚園が15ヶ所あります。4歳児、5歳児の「2年保育」が主ですが、3歳児保育への要望は年々高まっています。

それを受けて、2022年には手代木南、2023年には荃崎で3歳児の受け入れが始まりました。今年は抽選になり、待機児が出ています。そして手代木南では今年は4歳、5歳の入園児も増え、園児数が前年の2倍近く！という活況ぶりです。そこで公立幼稚園を就学前教育のセーフティネットとして充実させるため、今回質問しました。

3歳児保育の今後の拡充予定を確認したところ、「需要の把握、教員の確保、施設改修といった課題を考慮しながら」とかなり慎重な答弁でした。

公立幼稚園は年々園児数が減少していることから、2019年のつくば市学区審議会ですら「3歳児保育を検討すべき」との議論がされましたが、答申に盛り込まれることはありませんでした。そして2019年10月に始まった幼児教育無償化が追い打ちをかけ、同じ保育料無料であれば3歳から入れて保育時間も長い私立幼稚園が選ばれやすくなりました。しかし、公立幼稚園

には、公立ならではの大切な役割があります。公立幼稚園は通園区があるので、小学校入学前に地域の保護者同士が知り合いになれるメリットがあります。何気ない日々の関わりから「地域のつながり」が生まれています。

また、特別な支援を必要としているお子さんには、公立幼稚園が安心できる受け入れ先となっています。日本語が難しい外国籍の親子へのサポート、年度途中からの入園等に柔軟に対応できるのが公立幼稚園です。これらのサポートは今後もしっかりやっていきたいとの答弁でした。

このまま園児数が減って、公立幼稚園そのものがなくなるようなことは避けなくてはなりません。今の「4歳から、保育は15:00まで」では縮小する一方でしょう。近隣自治体で公立幼稚園を持つ牛久市、つくばみらい市、下妻市、小美玉市はいずれも3歳児受け入れを行なっています。兵庫県明石市では保育時間も大幅延長し、「だれでも保育」を先取りした政策が成功しています。地域の財産である公立幼稚園を積極的に充実させていくことを要望しました。



つくば市議会議員  
福祉保健委員会委員  
**あさの えこ**

一般質問項目

- ・つくば市の公立幼稚園について
- ・発達性ディスレクシア児童生徒の支援状況



つくば市議会議員  
市民経済委員会副委員長

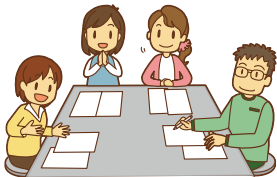
**川村 直子**

一般質問項目

- ・学校におけるごみの減量、リサイクルやリユースの推進
- ・市政への市民参加の推進

- 公募では(専門的見解等含めた)基準点を設け、小論文や面接によって可否を判定、基準点に達しなければ、定数内であっても落選することがある。日々の暮らしの中からの素朴で率直な意見が、審議会等への市民委員参加の意義と考えます。専門的見解等は専門家や関係団体の委員に期待されるもので、市民委員に求める必要はないのでは？
- 公募と無作為抽出方式(くじ引き)の併用で市民委員を選定した審議会等があり、積極的にやりたいと希望した人は選ばれず、無作為抽出方式による人が選ばれる場合もあった。両者の併用は適切なのか？

公募で落選した理由も明確に説明されないため、これでは、折角の市民参加の意欲が削がれてしまい、問題ではないでしょうか？



# これでいいのか?公募市民委員の選定方法

市民ネットは2003年の設立当初から、主権者である市民が、地域の課題をおまかせにせず、自分事として考え関わることを何より大切と考え、市政の情報公開・市民参加を求めてきました。その一つが、政策づくりの場である審議会等への市民委員の参加です。

つくば市では2018年“市民参加推進に関する指針”と“市民委員募集に関する要綱”が定められ、審議会等に、公募や無作為抽出方式(くじ引き)で選ばれた市民委員が参加することになりました。“市民参加推進に関する指針”に定められた「市民委員はおおむね3割」の目標へも少しずつ近づいており、市民委員数の増加を評価しています。しかし市民委員の選定の仕方などに課題があると考え、一般質問しました。

そこで、市民委員の選定方法も含め、次のように現状の改善を要望しました。

- ★無作為抽出方式の運用について、**公募との併用が適切か**、検証すること。
- ★**公募の選定方法が、市民参加の意義にかなっているか**、いまいちど検証すること。(点数による評価ではなく、公開抽選や、または男女の割合、居住地域、年齢、などを考慮した選定をし、選ばれなかった人には理由を伝える、等。)
- ★現状では所轄部署毎に決められている**選定基準や選考方法等を、部署横断的に検討**すること。
- ★審議会等は、年間数回の開催では十分な審議が出来ないため、**回数を増やす**こと。
- ★審議会等では**少人数でのグループワーク**を入れたり、新しい市民委員には**事前に今までの内容の共有をはかる**等、十分な議論が出来るよう工夫すること。
- ★**市民参加条例の策定**に向けた議論を始めること。

今後も、様々な市民参加手法を取り入れて、積極的に市民参加が推進されるよう、取り組んでいきます。

※ 正式名称「つくば市附属機関の委員及び懇談会等の構成員の市民募集並びに委員等候補者の登録に関する要綱」

# 「気候市民会議つくば2023」へ、多くのアイディア、意見を！



特定の課題について無作為抽出で選ばれた市民が時間をかけて話し合い、政策へ反映していく「市民討議会」。つくば・市民ネットワークの提案を機に、本年つくば市では、無作為抽出選出による初の市民討議会「気候市民会議つくば2023」が実施されます。全6回の会議がいよいよ9月からスタートします！

会議の委員に選ばれなかった人も、会議で検討して欲しいアイディアや

意見を提出できます。たくさんの意見を提出して、みんなで会議の行方に注目していきましょう。

これをきっかけとして、気候変動への関心はもとより、市政への市民参加の機運が高まりますように!!

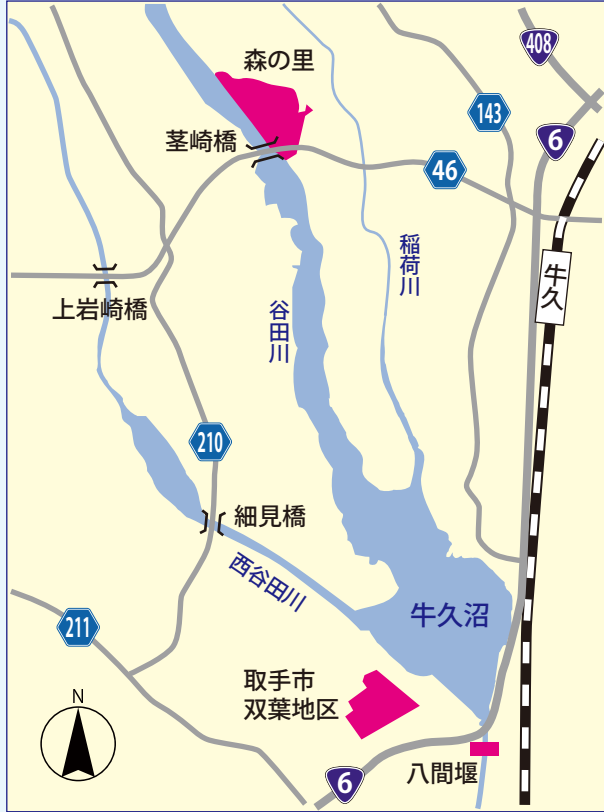
「気候市民会議つくば2023」  
で検索するか  
またはこちらから →



意見提出も  
こちらから

## うののぶこ県政レポート

# 大雨で牛久沼が増水し被害甚大！ 水門工事との関係は？



6月2～3日、梅雨前線と台風2号の影響で記録的な豪雨となりました。つくば市内では床上浸水2棟、床下浸水4棟の他、森の里で谷田川が一部越水し、団地内の雨水を谷田川に排水する管の一部が壊れ、噴水のように道路に吹き出しました。市の道路管理課、危機管理課や地元建設業の尽力により、噴水を止める努力が連日行われ、6月7日に破損箇所をコンクリートで固めてやっと噴水は止まりました。

また、西谷田川の両岸では田植えの終わった水田が2週間以上も水没してしまいました。実は、谷田川・西谷田川下流の牛久沼では八間堰の水門を工事中で、水をせき止めていました。八間堰をせき止めていた矢板の高さを下げる緊急対応を6月15日に行い、やっと水が引きました。今後、コメの生育への影響が懸念されます。

今回、特に被害の大きかった取手市双葉地区では、床上浸水による半壊325棟、床下浸水242棟、車も水没して使えなくなる等、大きな被害が発生しました。住民の方々から、これも八間堰の工事の影響ではないかと疑問の声が寄せられました。そこで、県議会で防災・危機管理部、土木部にこの点を質問しましたが、「今後総合的に調査する」と答弁。有識者を含む検証組織が設置されることになりました。

県議会では災害救助法に基づき、住宅の応急修理や被災者の生活再建支援のための補正予算を決定しましたが、今後もこのような豪雨は発生する可能性があり、被害を最小限に抑える対策も必要です。そこで、今回被害の出た地域に、水位計や監視カメラの増設を提案しました。また、水門や用水路を管理する土地改良区は農林水産部の管轄であり、工事を行う土木部、災害対応を行う防災・危機管理部と組織を超えた防災連携が出来ているのか、引き続き確認していきます。

## ごみを減らそう！

どちらもお申し込みは、  
TEL:029-859-0264(市民ネット)  
またはこちらまで。 →



生ごみを堆肥に！

### ダンボールコンポスト講習会

参加費無料 要申し込み

9月8日(金) 10:30～

つくば・市民ネットワーク事務所  
(つくば市二の宮2-1-3 クラフトビル1F)

上記日程でご都合のつかない方は、別途、講習会を計画できますので、お問い合わせください。

参加者募集！

### つくば市リサイクルセンター見学

先着15名 要申し込み

8月25日(金) 10:00～

プラスチック製容器包装や古紙、古布などがどのように処理されているのか見に行きませんか？  
参加希望の方は、8月18日(金)までに市民ネットワーク事務所へお申込みください詳細をご連絡します。

議員と話そう会 改め

県議会・市議会の報告を兼ね、市民ネットの代理人(県議・市議)を交え、様々な情報と意見交換を行います。

## まちづくりカフェ

8月20日(日) 14時～16時 co-en(コーエン)つくばセンタービル1F

8月22日(火) 10時～12時 荊崎交流センター 工作室

命と生活をまもるための

無料

## 生活相談会

日々の生活で、お困りの方はいませんか？

就労相談や生活保護などの公的支援は届いていますか？  
相談会では、相談される方にマッチした解決策と一緒に探していきます。

2023年8月27日(日)

15:00～16:30

つくば・市民ネットワーク事務所  
(つくば市二の宮2-1-3)

主催：生活困窮ささえあい茨城

## こんなふうに使っています

### 政務活動費

市議の政務活動費は1人当たり3万円/月が交付されています。報告書・領収書を市に提出し、残金がある場合は市に返却します。2022年4月～2023年3月の4人分、144万円について報告します。

| 科目    | 金額(円)   | 主な支出の内訳                            |
|-------|---------|------------------------------------|
| 研究研修費 | 28,132  | 保育を考えるフォーラム、平和・立憲・人権をつなぐ全国自治体議員会議等 |
| 資料作成費 | 222,461 | 会派室パソコンレンタル 議会事務局コピー機使用料等          |
| 資料購入費 | 255,189 | 新聞・書籍代等                            |
| 広報費   | 379,350 | 会派通信発行(印刷代及び新聞折込代)                 |
| 合計    | 885,132 | (残金554,868円は、市に返却しました)             |

### 議員報酬

つくば・市民ネットワークの活動費  
(2022年1月～12月)

|          |        |
|----------|--------|
| 【収入】     |        |
| 前年度繰越    | 1080万円 |
| 会費・寄附など  | 1502万円 |
| 【支出】     |        |
| 人件費      | 431万円  |
| 光熱水費     | 52万円   |
| 備品・消耗品費  | 79万円   |
| 事務所費     | 480万円  |
| 総会・行事費   | 119万円  |
| 選挙関係費    | 42万円   |
| 通信等作成費   | 493万円  |
| 調査・研修費等  | 47万円   |
| 寄附       | 10万円   |
| その他      | 5万円    |
| 【次年度へ繰越】 | 824万円  |

2022年1月～12月

寄附  
(約1,419万円)

代理人手当  
(4人で800万円)  
+  
税金、社会保険料等  
(約612万円)

※ 法律に則り資金管理団体を  
通して寄附しています

つくば市議会



4人で  
議員報酬 2,789万円  
費用弁償(※)等 42万円



※費用弁償：議員報酬とは別に、議員が議会や委員会に出席するときに、定額支給される旅費・交通費。